



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26学校だより No.15

平成26年7月11日発行

「世界のユニクロ」から学ぶ身近なボランティア活動

3年生の「あすなる探究」の一環として、ユニクロより2名の講師から、「届けよう服のチカラ」プロジェクトについて説明してもらいました。政治の混乱等で難民となってしまった方々に、着なくなった子どもの服を届けようという企画であり、身近でできるボランティアに取り組むことが目的です。

最近のイラクやイスラエルの情勢に関心をもつなど、常にグローバルな視点で物事を考え、身近（ローカル）なところで行動をする「グローバル」な人材に育ててほしいと思います。



落雷から身を守る方法

先日の夜中、雷鳴により、目が覚めました。この季節、落雷による事故が心配されます。以下のことに留意して、事故に遭わないようにしてください。

「雷鳴が遠くから聞こえるので、近くに来るまで大丈夫」と考えるのは、間違いです。雷鳴が聞こえた時には、すでに落雷の危険域に入っています。

雷が鳴ったら即避難をする！

1 十分安全な場所

鉄筋コンクリート建築物・1戸建て住宅などの本格的木造建築物が安全です。

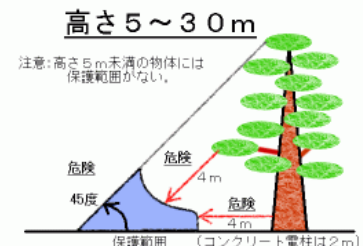
2 比較的安全な場所

高さ5～30mの物体（樹木、建物、ポール、電線、電柱）の保護範囲に素早く避難する。右図参照

【注意】木の枝や幹から4m離れること

3 危険な場所

即座に離れ、腰をかがめて出来るだけ低い姿勢で移動する。周囲への落雷が激しく、逃げられない時は、その場で両足を揃えてしゃがみ、目を閉じ、指で両耳穴をふさぐようにします（寝そべると、近くに雷が落ちた時に、地面を伝わる雷でケガをします）。



緊急避難時の心得！

- 樹木（小枝や葉も含めて）の4m以内に近づかない。木のそばへの避難は、自殺行為です。
- 雨が降っても、絶対に傘はささない。ピックルを頭より高く持ち上げない。（20cmの高さの差が、生死を分ける場合もある。）

今後の主な予定

- 7月14日(月) ・1学年PTA (18:30～ 北校舎3階会議室)
- 15日(火) ・前後期部活動合同練習会
- 16日(水) ・カウンセラー来校日
- 17日(木) ・後期課程球技大会(リージョンプラザ上越)
・2学年PTA (18:30～)
- 18日(金) ・異学年交流 ・3学年PTA (18:30～)
- 19日(土) ・4学年PTA (海外研修説明会 9:00～)
- 22日(火) ・前期課程 上越地区大会報告会、県大会壮行会
・4学年留学生ふれあい交流
- 23日(水) ・カウンセラー来校日
- 24日(木) ・全校集会 25日より夏季休業日となります。

お知らせ

- 北校舎3階会議室にクーラーが設置されました。
学年単位での授業や講演会、学年PTAが快適にできるようになりました。
- 武道場の耐震工事が始まりました。
9月まで、武道場の耐震工事が続きます。剣道部の皆さんには練習会場の関係でご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈りします。

学年PTAでよく聞く「偏差値」とは？

今週及び来週に多くの学年において学年PTAが行われ、これまでの学習や生活の様子、各学年行事、夏季休業中の過ごし方についての説明をしています。本校では、学力の伸びを計る指標として、「偏差値」を利用しています。学力分析のためには、偏差値の意味を正しく理解する必要があります。以下のことを参考にしてください。

簡単にいうと自分が何番目かくらいを示す数字のことです。平均を50とした点数で、偏差値が50より上だと平均より上の成績で、数字が高いほど良い成績ということになります。

どちらからが良い成績か？

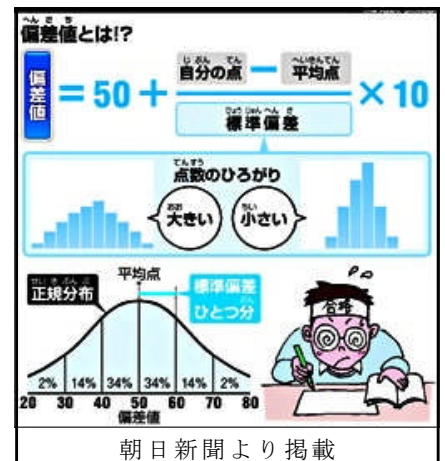
Aさんは、7月に実施した5教科500点満点の模擬試験で350点、10月では385点、平均点はともに300点であった。どちらの模試の方が良い成績でしょうか？

自分の得点と平均点との差から、10月の模試結果の方が、好成绩だとみえるが、本当にそうだろうか？順位をみれば一目瞭然？しかし、2つの模試では受験者の総数が異なるため、一概に言えない。そこで、「偏差値」の登場となる。偏差値は、以下の式で表される。この式で、「標準偏差」という聞き慣れない統計用語が出てくるが、「標準偏差」とは、受験生全体の得点分布の広がり幅（ばらつき）をみる一つの尺度である。得点のばらつき具合を調べることにより、受験生全体の中で相対的な自分の位置が分かる。

7月の模試は標準偏差50点、10月の模試は標準偏差85点であったとしよう。10月の模試の方が、得点分布がばらばらで高得点の生徒及び低得点の生徒も多かったことを示している。

この数値を、先ほどの偏差値を求める式に当てはめると以下のとおりとなる。

7月	$\frac{(350 - 300) \times 10}{50} + 50 = 60$
10月	$\frac{(385 - 300) \times 10}{85} + 50 = 60$



結論としては、7月と10月の偏差値はともに60となり、2つの模試結果は同じ程度の成績であったと言える。偏差値という相対的なものさしを活用することにより、2つの模試結果が比較しやすくなったことになる。

偏差値の長所と留意する点

「利点」

異なるテストの成績を同じものさしで見ることができるようになる。具体的には国語のテストで偏差値が60、理科で偏差値が55なら、国語の方が良い成績であることが分かる。また夏のテストの時の偏差値が55、秋のテストでの偏差値が50なら、成績は下がったということが分かる。

「留意する点」

順位や偏差値は、テストを受けた人たち（母集団）と言います）のレベルに影響される。成績優秀な生徒が多く受験したテストでは、偏差値が下がることになる。具体的には、以下のような場合が考えられる。

- 4年生の模試では、偏差値が下がる傾向がある。

4年生の模試から、一般中学校から有名進学校に進学した成績優秀な生徒が受験するため（前期課程の学力推移調査は受験していない）。

- 6年生の模試では、偏差値が下がる傾向にある。

6年生の模試には、高校卒業後に大学への進学準備をしている生徒が加わるため。

※ 偏差値というものさしは、大きな集団の中での相対的な位置を知るためには、大変有効な指標です。その特性を十分理解して、活用してください。